

学年	科	コース	教科	単位数	担当者
3	電気工学科		電気基礎	3	小吹 佳志
担当者(担当クラス)					
この科目を履修するための条件や準備					
電気回路について電氣的諸量の相互関係を踏まえて理解するとともに、関連する技術を身につけるようにする					
この科目のねらい 目標					
工業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、電気現象を量的に取り扱うことに必要な資質能力を育成すること					
具体的な指導方法					
工業生産に関連付けて考察するよう工夫して指導する。また計算方法の取り扱いに当たっては、演習を重視し、実際に活用できるように工夫して指導する					
使用教材					
使用する教科書			使用する副読本		
精選電気基礎 実教 E390			なし		
評価方法					
定期考査(年間5回) 平常点(授業態度・宿題レポート・積極性・出席状況など)などで総合的に判断					
年間授業計画					
I. 1学期中間考査まで					
交流回路					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 正弦波交流 P. 123 ・ 複素数 P. 131 					
→4, 5月の課題及び1学期期末考査後の補充授業で対応					
II. 1学期期末考査まで					
交流回路					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 記号法による交流回路の計算 P. 137 ・ 交流回路の電力 P. 158 					
III. 2学期中間考査まで					
交流回路					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 三相交流 P. 162 					
IV. 2学期期末考査まで					
電気計測					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 測定量の取り扱い P. 177 ・ 電気計測の基礎 P. 181 ・ 基礎量の測定 P. 189 					
V. 学年末考査まで					
非正弦波交流と過渡現象					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 非正弦波交流 P. 205 ・ 過渡現象 P. 214 					